

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
 E-mail: rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
 URL: http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 岩尾 誠
 副 会 長 : 水上成樹
 幹 事 : 三原慎也
 公共イメージ : 西川 昇
 会報担当者 : 長尾信幸・河合和也

2020 年度国際ロータリー会長：ホルガー・クナーク (Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータークラブ・ドイツ)

2020 年度国際ロータリーテーマ：Rotary Opens Opportunities (ロータリーは機会の扉を開く)

<本日のプログラム>

第 2716 回 令和 3 年 5 月 20 日 第 3 木曜日
 外来卓話 ご褒美企画 金箔貼り体験
 上田晋市様

<次回の予定>

第 2717 回 令和 3 年 5 月 27 日 第 4 木曜日
 会員卓話 山川直保会員

<前回の記録>

第 2715 回 令和 3 年 5 月 13 日 木曜日
 会員卓話 平岩憲政会員
 遠藤一史会員

司 会 進 行 可児一彦副 SAA

点 鐘 岩尾 誠会長

ソ ン グ それでこそロータリー

来 客 紹 介 岩尾 誠会長



ミノグループ 永瀬和郎様

出 席 報 告 大川達也出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
38 名(免除 2 名)	35 名	1 名	36 名	94.7%

ニコ B O X 山下友幸ニコ BOX 担当責任者

- ・永瀬君、来月より宜しくお願いします。
平岩さん、遠藤君、卓話楽しみにしています。
岩尾 誠
- ・平岩会員、遠藤会員 卓話宜しくお願いします。
楽しみにしています。
三原慎也
- ・本日の卓話、宜しくお願いします。
平岩憲政・遠藤一史

- ・結婚記念日のお祝いをありがとう。西村 肇
- ・永瀬様、ようこそいらっしゃいました。宜しくお願いします。

会員卓話、平岩君、遠藤君宜しくお願いします。

畑中伸夫・林 健吉・広瀬泰輔・岩出明喜

可児一彦・河合和也・河合 修・川井昭司

松本英樹・松森 薫・水上成樹・森下 光

村井裕孝・村土時男・長尾信幸・西川 昇

野田三津雄・小笠原正道・大川達也

酒井智義・坂本 仁・竹内巧治・田中義久

田代東次郎・和田英人・渡邊 剛・山下友幸

幹 事 報 告 三原慎也幹事

- ・地区大会事務所より 2020 年度地区大会中止のお知らせ
- ・地区事務所より 4 月分増強状況報告書
- ・ガバナー事務所よりガバナー月信寄稿、出席、動静報告等についてのお願い
- ・美濃 RC よりお礼
- ・可児、各務原、美濃加茂、関、関中央 各 RC より例会変更・休会のお知らせ

委 員 会 報 告 林 健吉情報担当責任者

- ・今月の IDM のお知らせ

会 長 の 時 間 岩尾 誠会長



皆さん、こんにちは。先ほど幹事報告にもありましたが、今年度の地区大会が新型コロナウイルスの関係で中止になりました。それで、RI 会長代理アドレ

スの刀根さんと、基調講演をされる予定だった滝澤さんを中心としたDVDを6月末までに各クラブに送って頂けるということです。地区大会に行けると思っていたので、中止になって寂しいです。

個人的な話になりますが、足が痺れて腰が痛くて何か変な症状だなどと思って整形外科へ行ってきました。MRIを撮ったら、脊柱管狭窄症という病名が付きまして。お医者さんには、体操をしたり薬を飲むように言われましたので、言われた通りにしようと思います。

この後は今日の卓話、平岩さん、遠藤君宜しくをお願いします。

会員卓話 平岩憲政会員



皆さん、こんにちは。現在のコロナの状況で、私たちの業界はかなりの痛手を被っております。2019年12月、中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、

かなりの感染力で、現在全世界を巻き込むコロナ禍の幕開けとなりました。私たちの業界では、特にここ最近になって大手の企業が資本金を減らして中小企業となり、規模を縮小して乗り切るというような思い切った手を打っています。他にも支店を200とか300単位で減らしているような状況です。そんな中で大手企業については倒産そのものは免れています。従業員10人未満の小さいところは、全国で2020年は30件近くが廃業に追い込まれています。インバウンドと呼ばれる訪日外国人観光客は、大手10社を見ても今年の3月から5月は、2019年度に対してほぼ100%のダウンです。日本からの海外旅行者も、3月は85%、4、5月については100%のダウンです。国内旅行についても3月は75%、4、5月は94~95%、あとの5~6%は全くの県内の移動のお客さんの数です。私たちの業界も、これがコロナだけのせいにしていいのか、今までになんらかの問題があったのではないかと、見直しを一斉に始めています。特に一番のターゲットであったシニア層は、ネット利用は面倒くさい等の理由でかなりの落ち込みとなっています。見直しの中でもう一つ、日本ほど世界文化遺産がたくさんあるところはないということで、これを使った商品開発があります。今までは世界文化遺産に対して、あまりにも無関心すぎました。登録された時には一気にお客さんが流れ込むけど、あとは段々と尻すぼみになります。これだけ登録件数があるにも関わらず、予算や施策については国ではなく地方任せになっていて、各自治体もしくは県で管理せよということになっています。そこで、国を挙げて文化遺産を利用するというのを、大手を中心に考え直して、年間を通して販売できる商品作りを観光庁から言われています。このコロナ禍で、日本への入国も出国

もできない状態なので、コロナ終息後のインバウンドの地方誘致の対処ということで、色々な制度作りが始まっています。オリンピックの開催も、今微妙なところですし、八幡も郡上踊りがあるかないか、それも今、観光関係の業界では非常に気にしているところです。東京オリンピックも、一年の延期で仕切り直しになりましたが、現在バスの関係も具体的に計画が進んでいます。バスの台数や、何を送迎するか、おもに選手団と関係者とマスコミですが、東京の首都高速をほぼ通行止めにして送迎にあたるということになっています。ですが、これもまだ不透明ということで、私達も今大変気にしているところです。私達の最後の望みといえば、皆さんのワクチンの早期接種です。昨日の発表で、65歳以上が7月までには68%ということでオリンピックには間に合いませんが、秋の行楽シーズンには何とか全体で60%以上が接種できれば、Go TOの再開ということも上の方へ要望しています。ワクチンを接種してもコロナはすぐに無くなりませんので、観光庁が出しているガイドライン、先ほど「新しい旅のエチケット」というのをお配りしましたが、目を通して頂いて予防に努めて下さい。日本の観光というのは、どうしてもゴールデンウィーク、お盆、正月に集中しているので、休暇の分散取得をお願いしております。それと、滞在型旅行という、平日を含む一定期間、好きなところに滞在して自然と食文化を楽しむという、少し今までとは違うレジャー的な感覚を取り入れた旅行スタイルも提案しています。コロナが落ち着きましたら、ぜひこれらを参考にさせて頂き、旅行を楽しんで下さい。ご清聴ありがとうございました。

会員卓話 遠藤一史会員

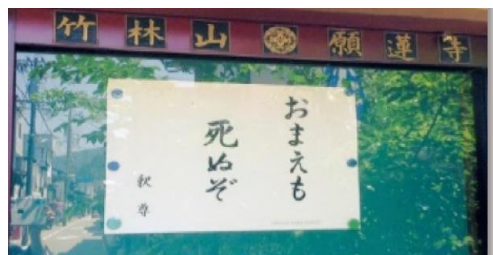


皆さん、こんにちは。入会后、会員卓話、外来卓話と皆さんのお話を聞かせて頂きましたが、自分は何を話そうかと随分悩みました。去年7月より、このロータリークラブに入会させて頂き、まだ右も左も

分からないまま例会に出席しているような状態です。一番最初にこの場所に立たせて頂いたのは、遠藤主税の葬儀後の挨拶に伺った時でした。その後、お話を頂いて入会の運びになりました。現在コロナ禍ということもあって、ロータリークラブとしての活動が自粛状態であるようですが、まだまだクラブの活動内容が分からないまま例会に出席しているような状態です。

さて、卓話ですが、自分の今の仕事についてお話をします。現在、私は葬祭業を営んでおりますが、この仕事に就くまで葬儀というものにあまり縁がなく、全くよその事でした。誰もがそうだと思いますが、葬儀のことをあまり考えたくない、

非日常なことだと思います。皆さん、近い方がお亡くなりになり人の死というものを実際に考えますが、日がたつにつれ、それは段々と薄らいでいきます。人の悲しみは日ごとに薄らいでいけばよいことなのですが、死というものは常に生と隣り合わせです。あるお寺の門前に掲示板があるのですが、以前その掲示板がテレビで放送され話題になりました。テレビに出たことで、このお寺の掲示板が世間に広く知れ渡ったようです。そのお寺の掲示板は、掲示板大賞を受賞されたそうです。その言葉が「お前も死ぬぞ」でした。



このように、生きていることが奇跡であると、よくお寺様をご法話でお話をされます。ひと昔前はお寺様が必ず説法、法話をされてみえました。そのお話も葬儀の一環であり、聞くことで皆さんが故人を偲び、死について向き合うというのがご葬儀でしたが、今の時代の流れでお寺様も若くなり、何より寺離れ、宗教離れでお付き合いをしなくなってきました。よく自分は無宗派だと言われる方がみえます。葬儀になったらどうするのかと尋ねると、うちはどこそこのお寺だからと言われるので、それは仏教徒ですよとお答えをしますが、そういったこともなかなかお分かりにならない方もみえます。皆さんはご自分の宗派をお分かりだと思いますが、仏教だけが宗教ではありません。色々な宗教があり、それぞれの考え方、教えがあります。人は生まれたら必ず死ぬというのは絶対だそうです。よく人生で絶対はないと言いますが、こと死だけは生まれたら死ぬという絶対があるそうです。今までにたくさんの方のお見送りのお手伝いをさせて頂きましたが、身近な方の葬儀をする自分の死についても考えられますが、寝たら起きるというのが当たり前という日常に戻ってしまいます。皆さん生活があるので、常に死のことばかり考えている時間はありませんが、自分が生きているということ、日々何をするか、今日一日充実した時間が送れたか、自分だけでなく人に何かしてあげられたか、と考えるのもいいのではないのでしょうか。死というものを考えた時に、ロータリーの四つのテスト、奉仕の理想、こういったものがロータリアンであれば、その活動で自分の死についても考えていくことに繋がっていくように思います。これは私の勝手な解釈ではありますが。

皆さんバイタリティーのある方ばかりなので、私が言うのも失礼な話ですが、人生最後の時に自分の人生がどうだったか振り返った時、何をしてきたか、何を残してきたか、そう考えた時に、あ

れをやっておけばよかった、これをしておけばよかったと後悔がないよう、仕事も遊びも色々なことに挑戦するのが楽しいことだと思います。また、違う目線で色々なことに挑戦しても、人生面白いんじゃないかと思います。あつという間にその時が来ます。やり残しがないよう、後悔がないよう楽しんでいきましょう。

以前はご葬儀があるとご近所で集まって煮炊きをして、遺族・親族、お手伝いの方の食事の手配をしてきました。通い帳というものがある、その通い帳を持って買い出しに行き、葬儀後、香典で支払いをして残りを遺族に渡すという流れでした。葬儀があるとご近所の方は、三日間は仕事を休んで葬儀のお手伝いをしてきました。その時、よその地域へ仕事に行っている方が、葬儀ができたので休みを下さいと会社に言ったところ、親戚かと聞かれ、近所だと答えたところ、は？郡上の葬儀はどうなっているんだと言われたそうです。以前はそれが普通のことでしたが、時代が変わり、なかなかそういったこともできなくなり、今は少し早く仕事を終わらせてお通夜に向かう、葬儀式では午後から仕事に向かうなど、お手伝いの仕方も変わってきました。ご近所が集まってお手伝いをしていた時は、年配の方から色々なことを教わり、またそれを若い人に段々と教えていくというのがご葬儀でしたが、今ではそういったお付き合いも無くなりつつあります。村八分という言葉がありますが、地域におけるお付き合いの中で葬儀と火事の二分以外は無視するという意味です。葬儀になると、感染症を恐れてみんなで葬儀をして茶毘に付すということをしました。火事では、火の手が上がると自分の家にも被害があるからということで、みんなで消火に当たったそうです。現在は、葬儀は葬儀屋、火事は消防署と窓口があるので、皆さん慌てることも少なくなりましたが、やはり今でも年配者が知恵を出して教えていくことが多くあるそうです。葬儀の受付で皆さんが集まった時の面白い話があります。若い時は飲み屋さんと女性の話、少し年を取る旅行と食べ物の話、もう少し年を取ると病気の話、さらに年を取ると病院と薬の話がされます。このことは四門出遊という、お釈迦様が出家をされたきっかけとなったお話によく似ていると思います。人の煩惱は百八つあると言われてはいますが、ある意味人は煩惱の塊で、それを理性と知性で抑えています。

新興宗教にはそれぞれの教えがあり考え方の違いもありますが、今をどう動くかということが大切ではないでしょうか。今の時代、多くの方が自分の生活で手一杯ですが、私は、ロータリークラブの四つのテスト、奉仕の理念のように動いていきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。